

令和7年

西条市消防統計



西条市消防本部

令和7年西条市消防統計

目次

火災統計……………1ページ

救急統計……………8ページ

救助統計……………13ページ

火災統計

令和7年火災概要

出火件数 : 33件
建物火災件数 : 25件
火災損害額 : 28,371千円



令和7年の数字は、

75.7%

令和7年中の出火原因は、電気機器が5件と最も多く、次いでたき火が3件となっています。全国的にみても、リチウムイオン電池の火災が多発しています。

たき火が原因の火災が多く、たき火や野焼きは、**原則禁止**されています。

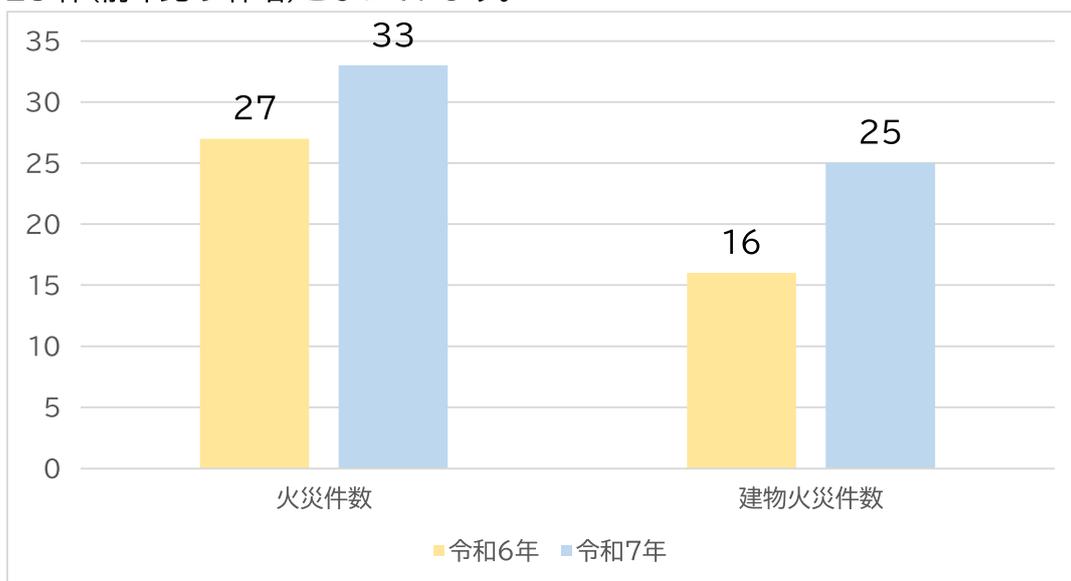
75.7%は、全火災における建物火災の割合です。

令和6年中の全国の建物火災の割合が56.5%となっていることから、全国値より高い水準となっています。

【令和7年 西条市火災統計】

1 火災概要

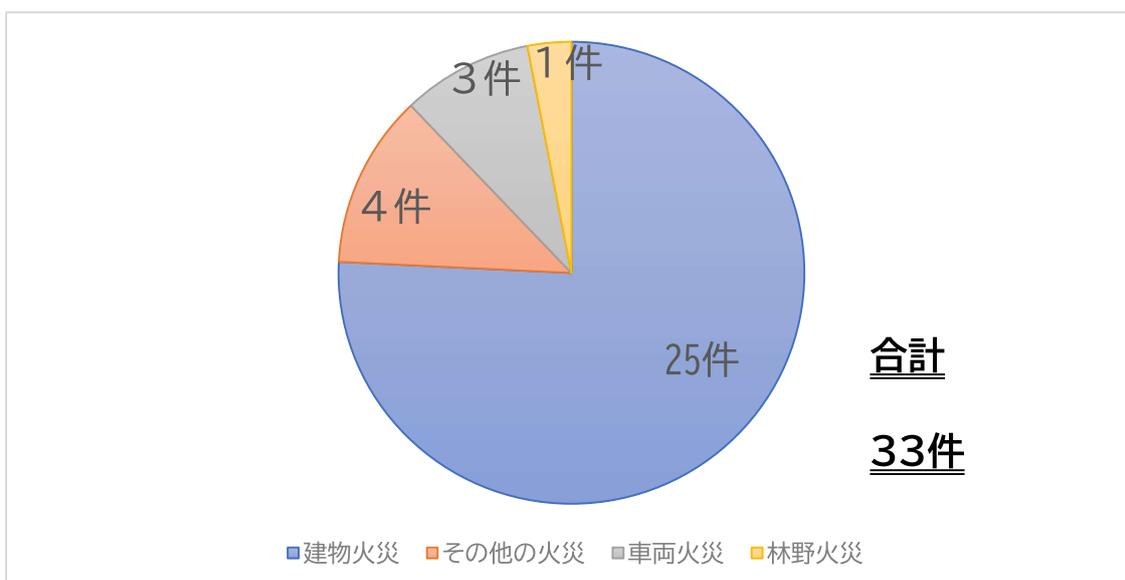
令和7年中における火災の状況は、火災件数 33 件(前年比6件増)、建物火災件数 25 件(前年比 9 件増)となっています。



2 火災状況

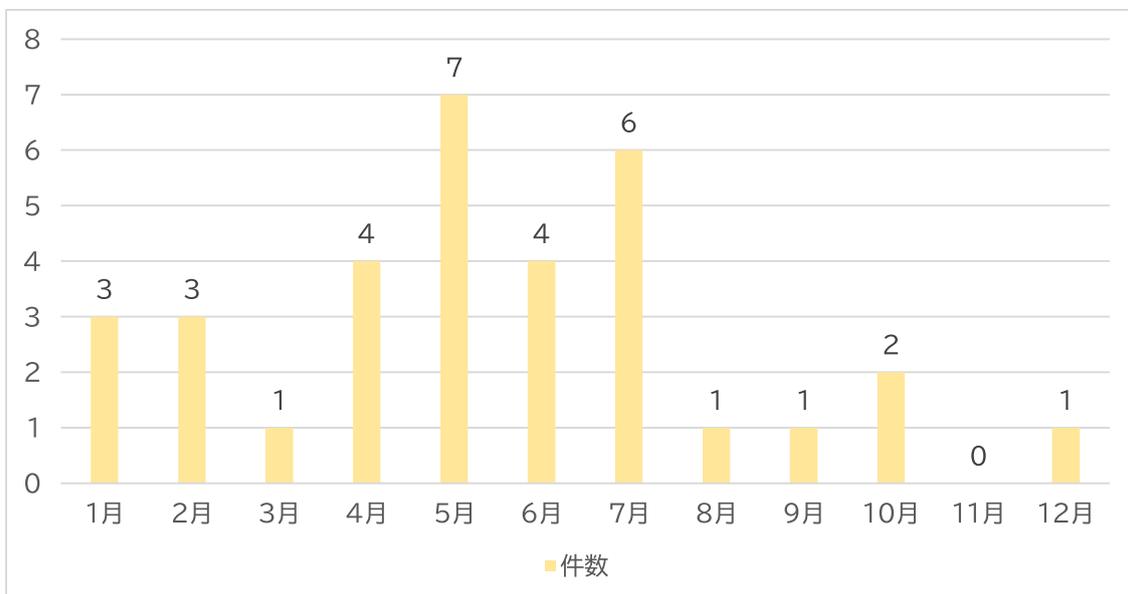
(1) 火災種別

火災種別ごとに件数をみると、建物火災が 25 件で 7 割以上を占めており、次いでその他の火災が 4 件、車両火災が 3 件、林野火災が 1 件となっています。



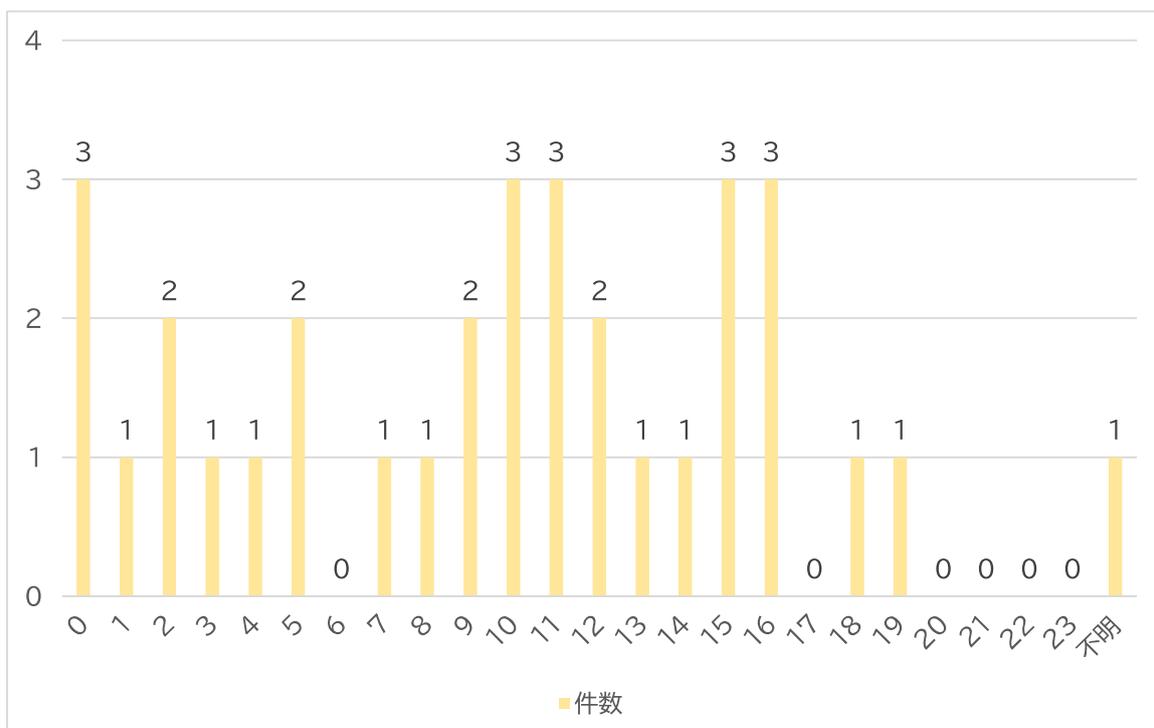
(2) 月別火災件数

火災件数を月別にみると、5月(7件)が最も多く、11月が(0件)となっています。



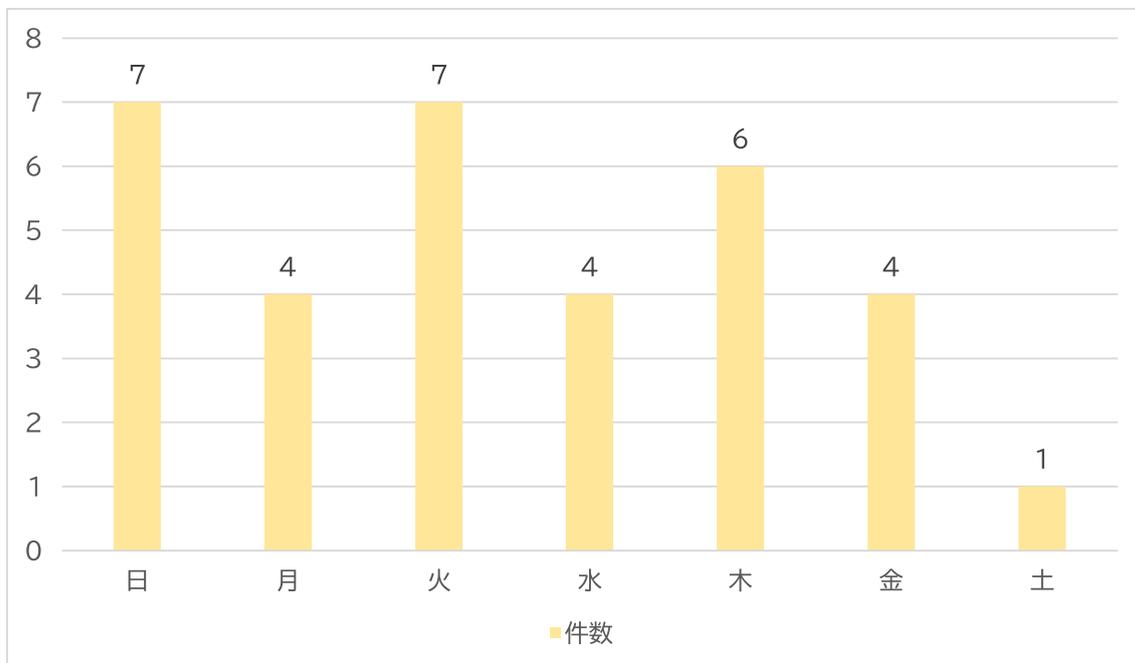
(3) 時間帯別火災件数

火災件数を時間帯別にみると、0時台と10、11、15、16時台(3件)が最も多く、昼食、夕食時間帯の出火が多い結果となっています。



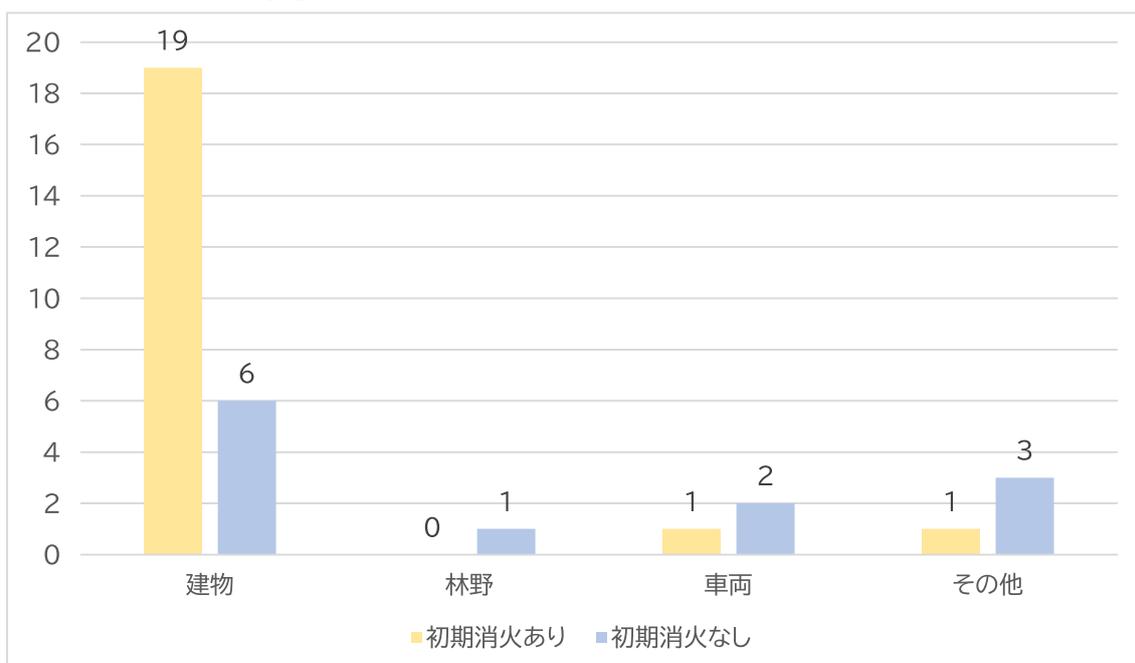
(4) 曜日別火災件数

火災件数を曜日別にみると、日、火曜日(7件)が最も多く、次いで木曜日(6件)が多くなっています。

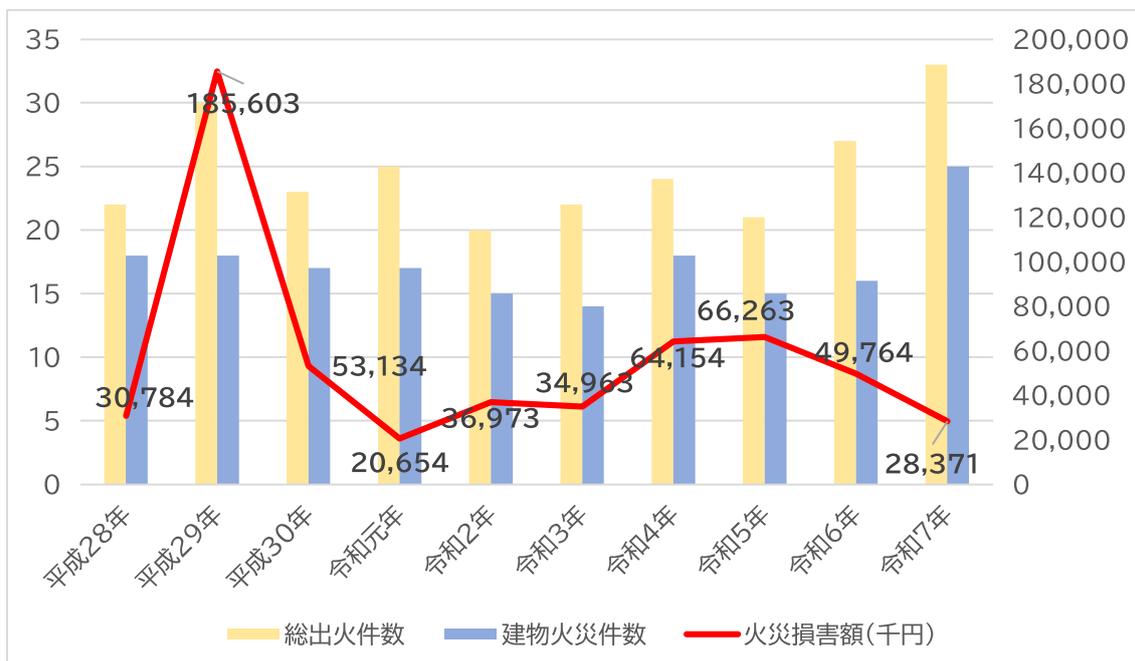


(5) 初期消火の状況

初期消火の状況を見ると、火災件数 33 件のうち、21 件は初期消火を実施しており、12 件は初期消火なしとなっています。



(6) 過去10年の火災概況(総出火件数、建物火災件数、火災損害額)

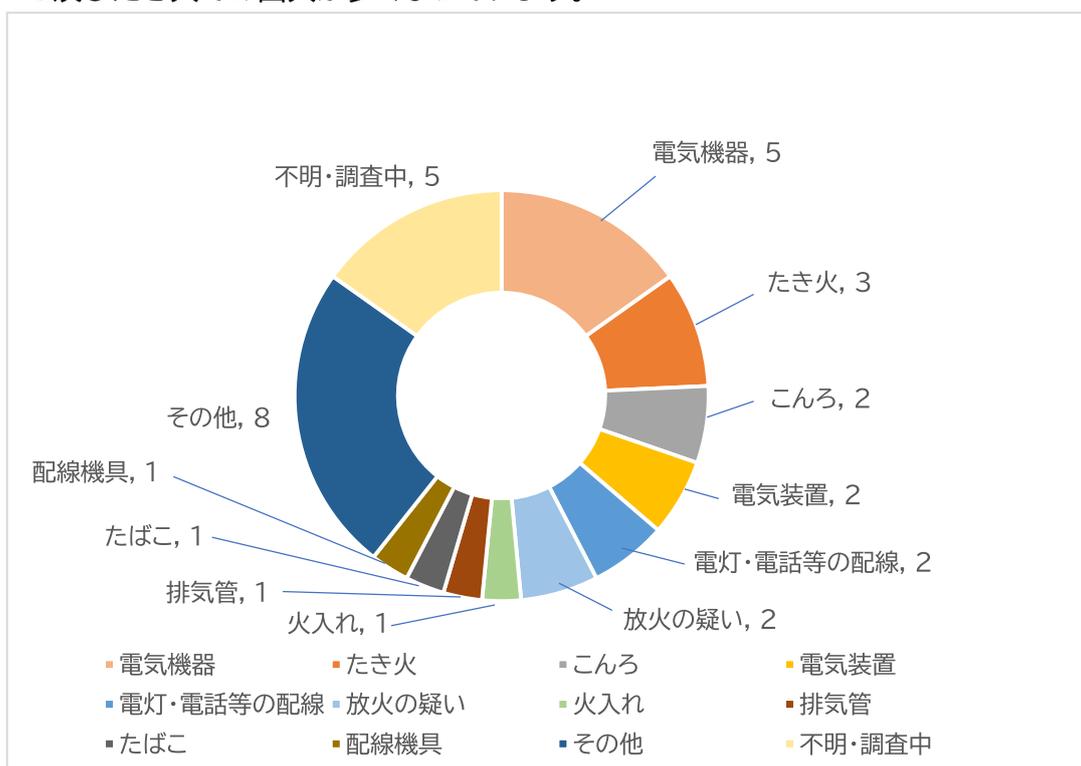


年	総出火件数	建物火災件数	火災損害額(千円)
平成28年	22	18	30,784
平成29年	30	18	185,603
平成30年	23	17	53,134
令和元年	25	17	20,654
令和2年	20	15	36,973
令和3年	22	14	34,963
令和4年	24	18	64,154
令和5年	21	15	66,263
令和6年	27	16	49,764
令和7年	33	25	28,371

(7) 令和7年の出火原因

令和7年の出火原因別にみると、電気機器が5件で最も多く、次いでたき火が3件となっており、不明・調査中が5件となっています。

また、西条市の過去10年における出火原因をみると、たき火での出火が多くなっており、特に注意する必要があることがわかります。全国的にみても、近年では、たばこ及びたき火での出火が多くなっています。



西条市の過去 10 年における出火原因

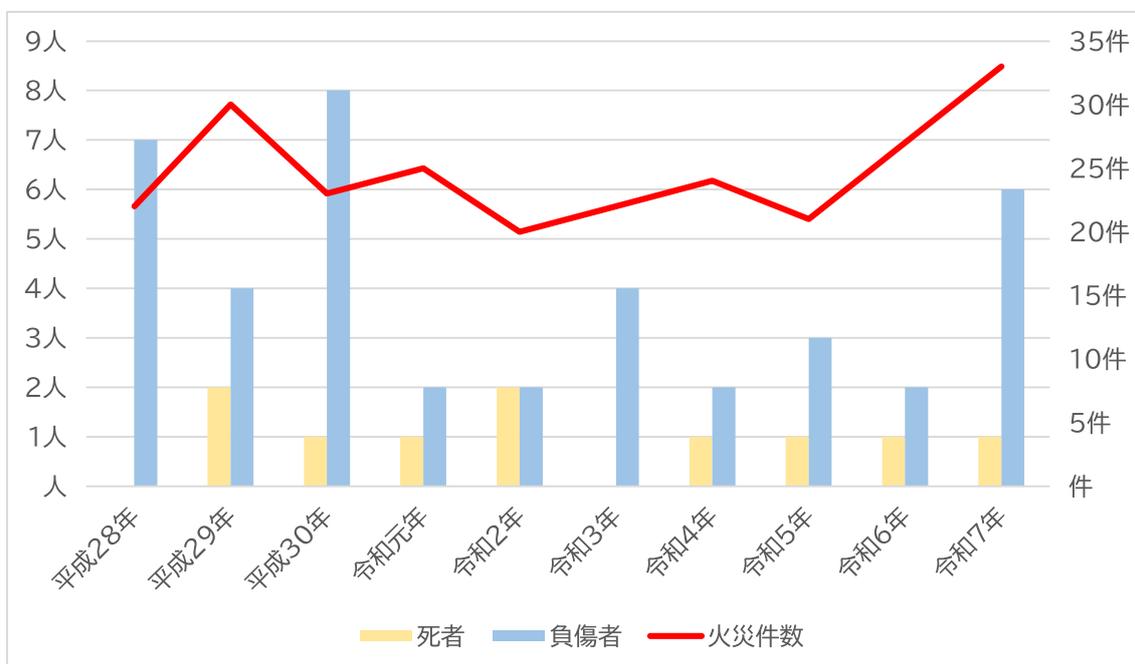
年	最も多い出火原因
平成 28 年	たばこ
平成 29 年	たき火
平成 30 年	たき火
令和元年	たき火
令和 2 年	たき火
令和 3 年	こんろ
令和 4 年	たき火
令和 5 年	たき火
令和 6 年	こんろ
令和 7 年	電気機器

近年における全国の出火原因

年	1 位	2 位
平成 28 年	ストーブ	たばこ
平成 29 年	放火	たばこ
平成 30 年	たばこ	たき火
令和元年	たばこ	たき火
令和 2 年	たばこ	たき火
令和 3 年	たばこ	たき火
令和 4 年	たばこ	たき火
令和 5 年	たばこ	たき火
令和 6 年	たばこ	たき火

(8) 過去10年の死者、負傷者の状況

過去10年間の死者及び負傷者については、受傷頻度が変化していないことがわかります。



	死者	負傷者	火災件数
平成28年	0人	7人	22件
平成29年	2人	4人	30件
平成30年	1人	8人	23件
令和元年	1人	2人	25件
令和2年	2人	2人	20件
令和3年	0人	4人	22件
令和4年	1人	2人	24件
令和5年	1人	3人	21件
令和6年	1人	2人	27件
令和7年	1人	6人	33件

(9) 過去10年の四季別火災件数

(春3月～5月、夏6月～9月、秋10月～12月、冬1月～3月)

四季別の火災件数を比較すると、令和7年は、春と夏の時期に多い傾向にあり、過去10年でみると、春の時期に出火件数が多い傾向であることがわかります。



	春	夏	秋	冬
平成28年	9件	3件	6件	4件
平成29年	8件	8件	7件	7件
平成30年	8件	4件	10件	1件
令和元年	10件	7件	3件	5件
令和2年	6件	5件	7件	2件
令和3年	2件	8件	5件	7件
令和4年	12件	2件	6件	4件
令和5年	6件	7件	1件	7件
令和6年	7件	7件	6件	7件
令和7年	12件	11件	3件	7件

救急統計

令和7年救急概要

出動件数 : 7,146件

搬送人員 : 6,377人



過去最多！



令和7年の数字は、

45%

西条市では、救急車の出動が増えています！

救急搬送された6,377人のうち45%が軽症(令和6年の全国軽症割合46.8%)ですが、救急出動件数は過去最多となり、救急医療がひっ迫しています。

緊急を要しない場合、診療時間内にかかりつけ医を受診する、判断に迷った場合は#7119を活用してください。また、救急車を要請したときは、マイナ保険証のご準備をお願いいたします。救急隊はマイナ保険証で診療情報や服薬情報を確認し病院選定等に活用いたします。

救急車の適正利用にご協力をお願いいたします。

【令和7年 西条市救急統計】

1 救急概要

令和7年中における救急業務の実施状況は、救急出動件数7,146件、搬送人員6,377人となっており、過去最多となりました。

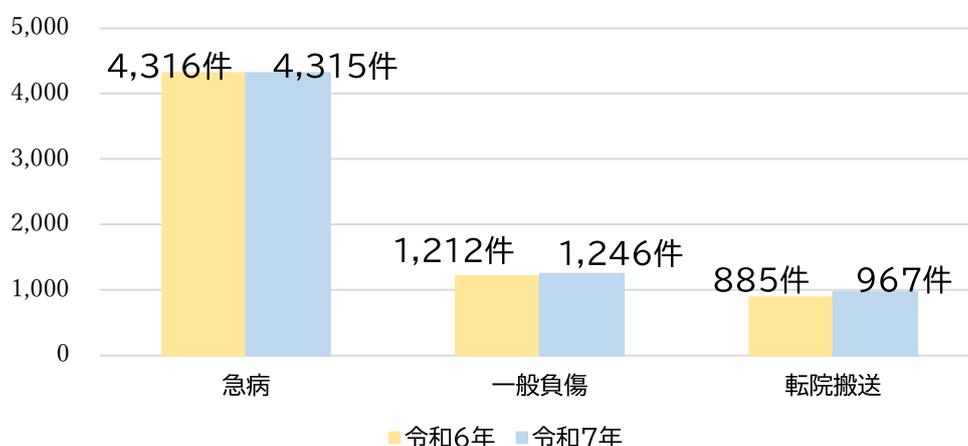
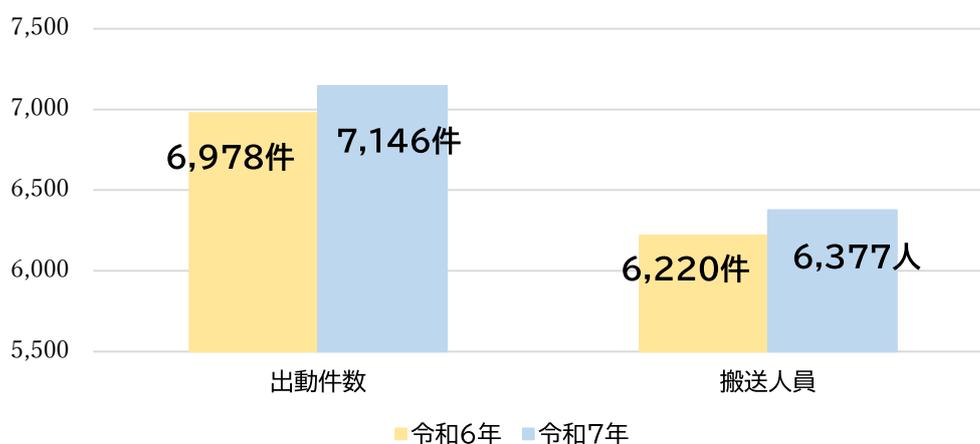
当市の1日当たりの救急出動件数は約19.6件、搬送人員は約17.5人となっており、これは、年間に市民の約16人に1人が救急搬送されたこととなります。

事故種別の第1位は急病の4,315件(60.4%)で、次いで一般負傷の1,246件(17.4%)となっています。

(1) 前年との救急件数・搬送人員の比較

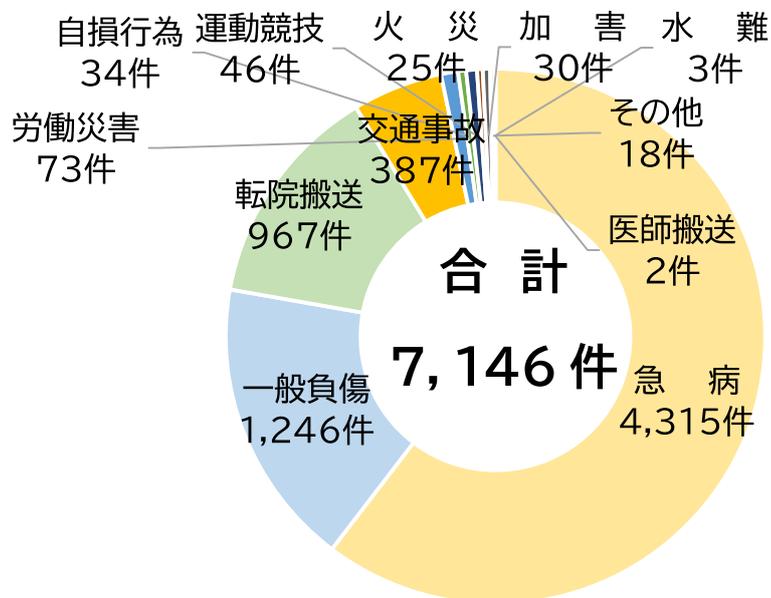
出動件数は前年比168件(2.4%)増加し、搬送人員も前年比157人(2.5%)増加しています。

出動件数を事故種別で見ると急病は1件減少、次いで件数の多い一般負傷は34件(2.8%)増加、その次の転院搬送が82件(9.3%)増加しています。



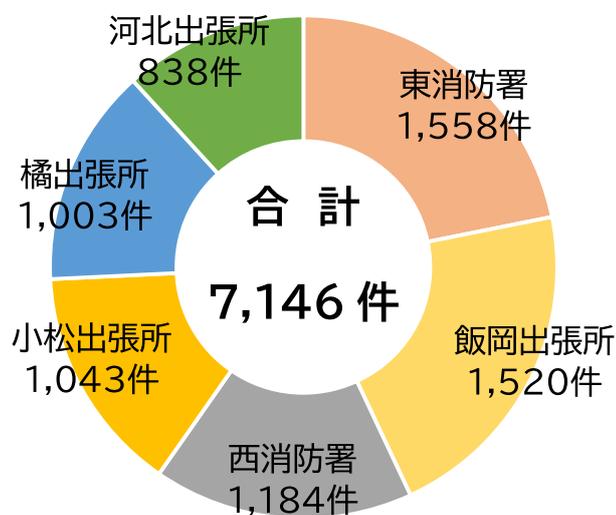
(2) 事故種別別の出動状況

事故種別別の内訳では、もっと多いのが急病で4,315件(60.4%)となっており、次いで一般負傷が1,246件(17.4%)、転院搬送が967件(13.5%)となっています。



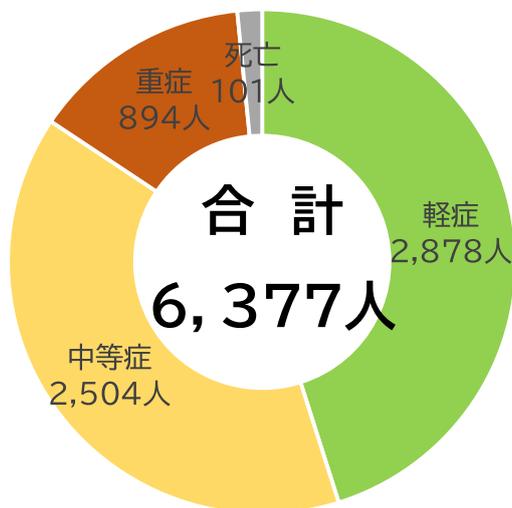
(3) 救急隊別の出動状況

救急隊別では東消防署がもっとも多く出動しており1,558件(21.8%)、次いで飯岡出張所は1,520件(21.3%)、西消防署は1,184件(16.6%)、小松出張所は1,043件(14.6%)、橘出張所は1,003件(14.0%)、河北出張所が838件(11.7%)となっています。



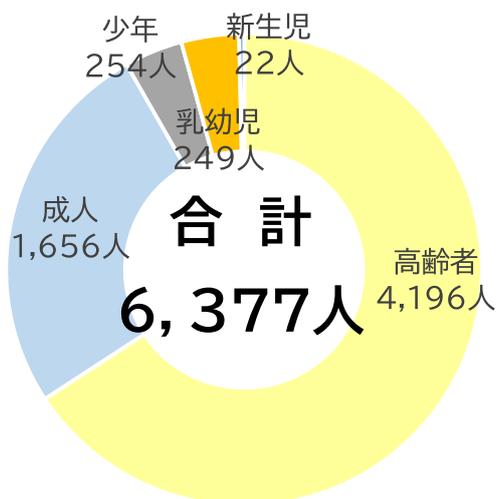
(4) 傷病程度別の搬送状況

入院加療を必要としない軽症が 2,878 人(45.1%)と最も多くなっています。重症または軽症以外のものである中等症については 2,504 人(39.3%)、3 週間以上の入院加療を必要とする重症では 894 人(14.0%)となっています。

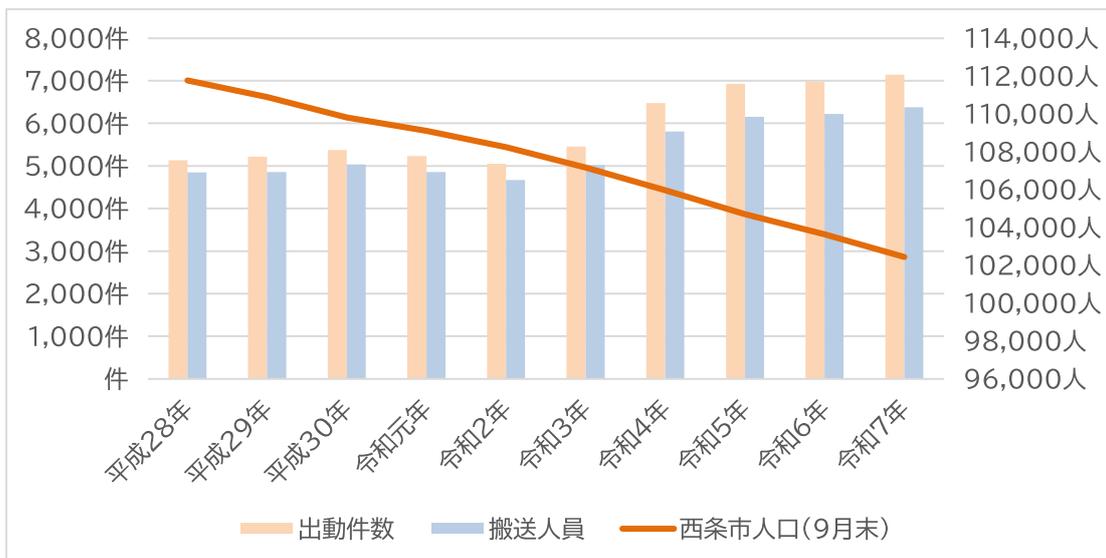


(5) 年齢別の搬送状況

高齢者(満 65 歳以上)が 4,196 人(65.8%)と最も多く、次いで成人の 1,656 人(26.0%)となっています。

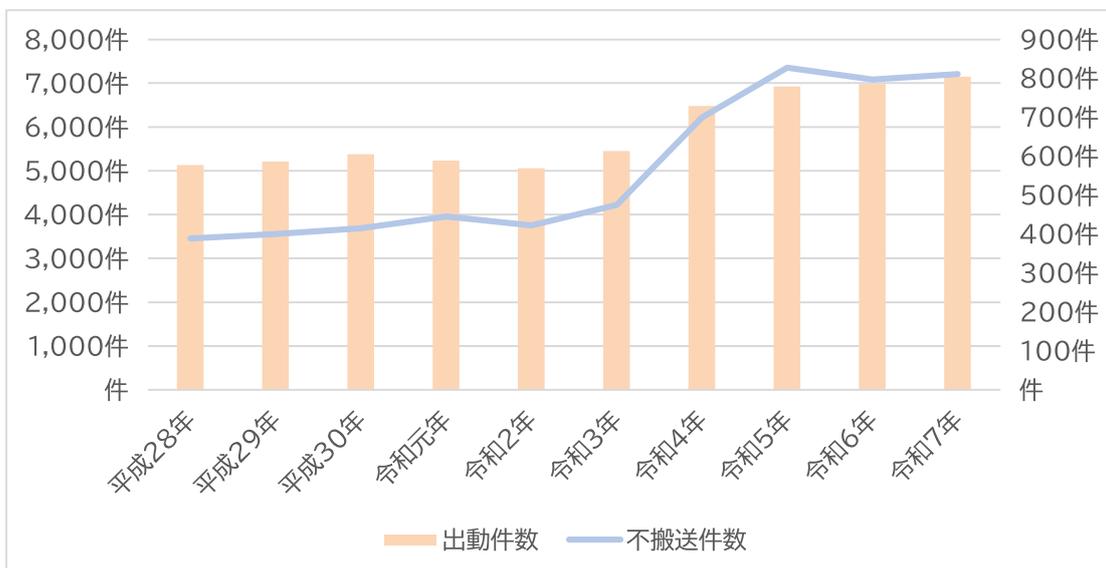


(6) 過去10年の救急出動件数及び搬送人員、西条市の人口の推移



	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
出動件数	5,130件	5,213件	5,375件	5,234件	5,054件	5,454件	6,476件	6,925件	6,978件	7,146件
搬送人員	4,851人	4,855人	5,034人	4,859人	4,669人	5,019人	5,811人	6,157人	6,220人	6,377人
西条市人口(9月末)	111,783人	110,891人	109,805人	109,108人	108,246人	107,168人	105,966人	104,695人	103,639人	102,453人

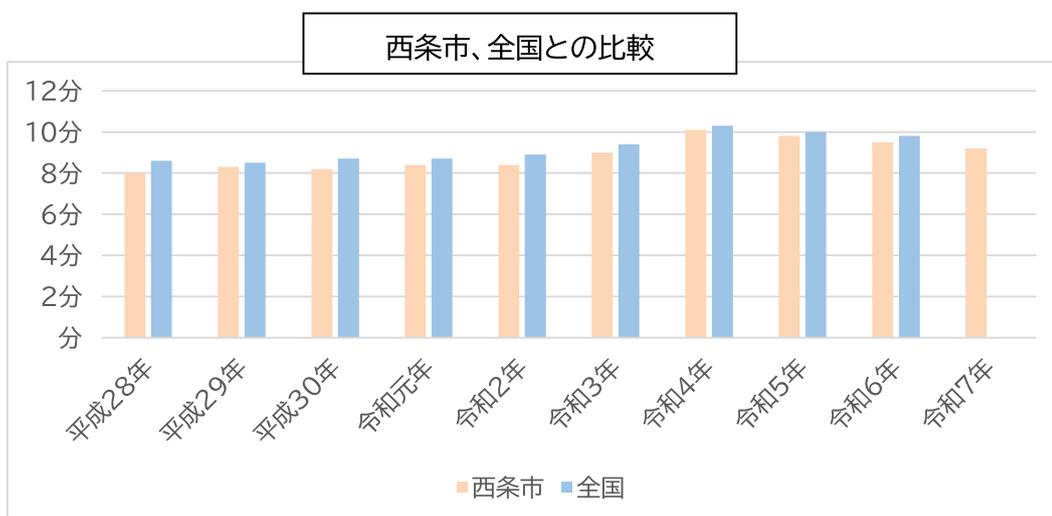
(7) 過去10年の出動件数、不搬送件数の推移



	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
出動件数	5,130件	5,213件	5,375件	5,234件	5,054件	5,454件	6,476件	6,925件	6,978件	7,146件
不搬送件数	389件	400件	415件	445件	422件	475件	699件	828件	797件	811件

(8) 過去10年の覚知から現場到着までの平均所要時間の比較

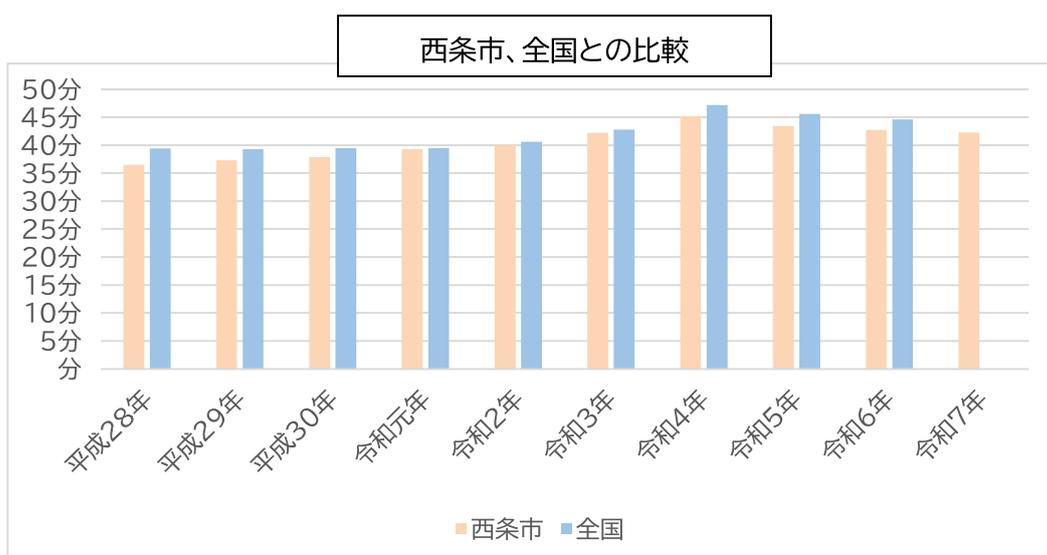
覚知から現場到着時間までの平均所要時間は、令和4年までは、西条市、全国ともに延伸傾向にあります。令和5年以降は短縮傾向になっています。



覚知から到着	(単位:分)	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
	西条市	8.0	8.3	8.2	8.4	8.4	9.0	10.1	9.8	9.5	9.2
全国	8.6	8.5	8.7	8.7	8.9	9.4	10.3	10.0	9.8	-	

(9) 過去10年の覚知から病院収容までの平均所要時間の比較

覚知から病院収容までの平均所要時間は、令和4年までは、西条市、全国において延伸傾向になっています。令和5年以降は短縮傾向となっています。



覚知から病院収容	(単位:分)	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
	西条市	36.5	37.3	37.9	39.3	40.0	42.2	45.2	43.4	42.7	42.3
全国	39.4	39.3	39.5	39.5	40.6	42.8	47.2	45.6	44.6	-	

救助統計

- 令和7年救助概要
出動件数 : 92件
活動件数 : 59件
救助人員 : 59人



令和7年の数字は、

23%

西条市では、石鎚山系の山々を管轄しており、昨今のアウトドアブーム等の影響により登山者が増加しています。

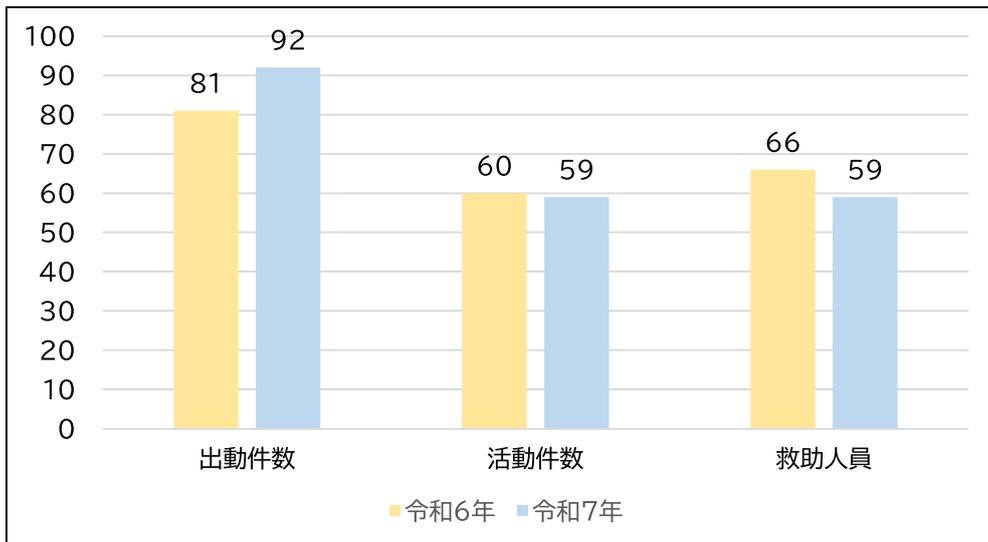
そのため、天候に関する不適切な判断や、不十分な装備で体力的に無理な計画を立てるなど、知識・経験・体力の不足等が原因で山岳遭難救助事案が21件（23%）発生しています。

自らの力を過信せず、十分な登山計画を立てて、登山等を楽しんでください。

【令和7年 西条市救助統計】

1 救助概要

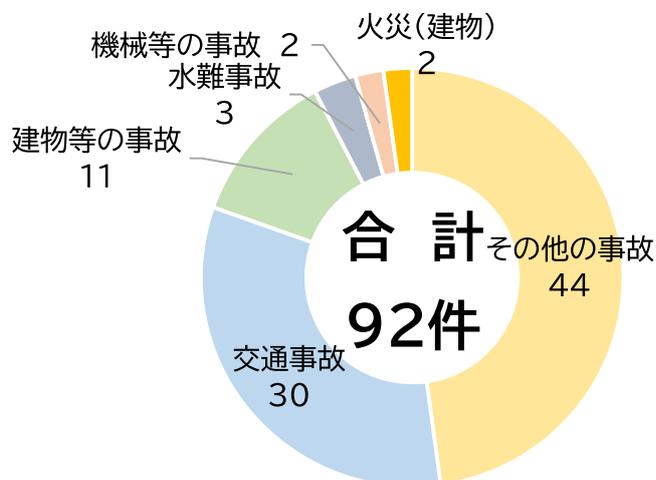
令和7年中における救助業務の実施状況は、救助出動件数 92 件(前年比 11 件増)、救助活動件数 59 件(前年比 1 件減)、救助人員 59 人(前年比 7 人減)となっています。



2 救助活動状況

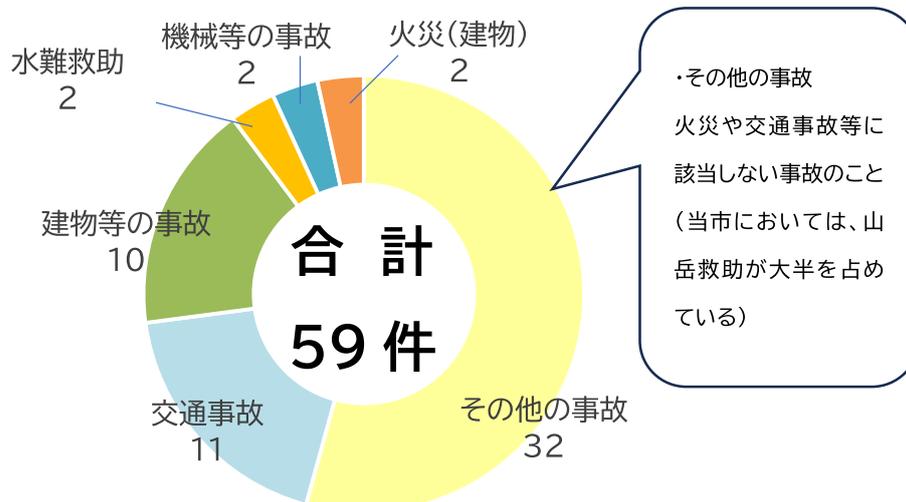
(1) 事故種別救助出動

事故種別ごとに救助出動状況を見ると、出動件数で最も多いのは、その他の事故 44 件(47.8%)、次いで交通事故 30 件(32.6%)、建物等の事故 11 件(12.0%)、水難事故 3 件(3.3%)、機械等の事故 2 件(2.2%)、火災(建物)2 件(2.2%)の順となっています。



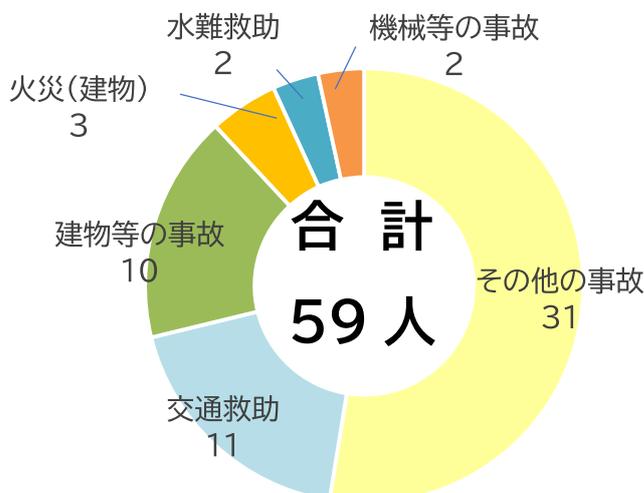
(2) 事故種別活動件数

活動件数で最も多いのは、その他の事故で 32 件(54.2%)、次いで交通事故 11 件(18.6%)、建物等の事故 10 件(16.9%)、水難事故 2 件(3.4%)、機械等の事故 2 件(3.4%)、火災(建物)2 件(3.4%)の順になっています。

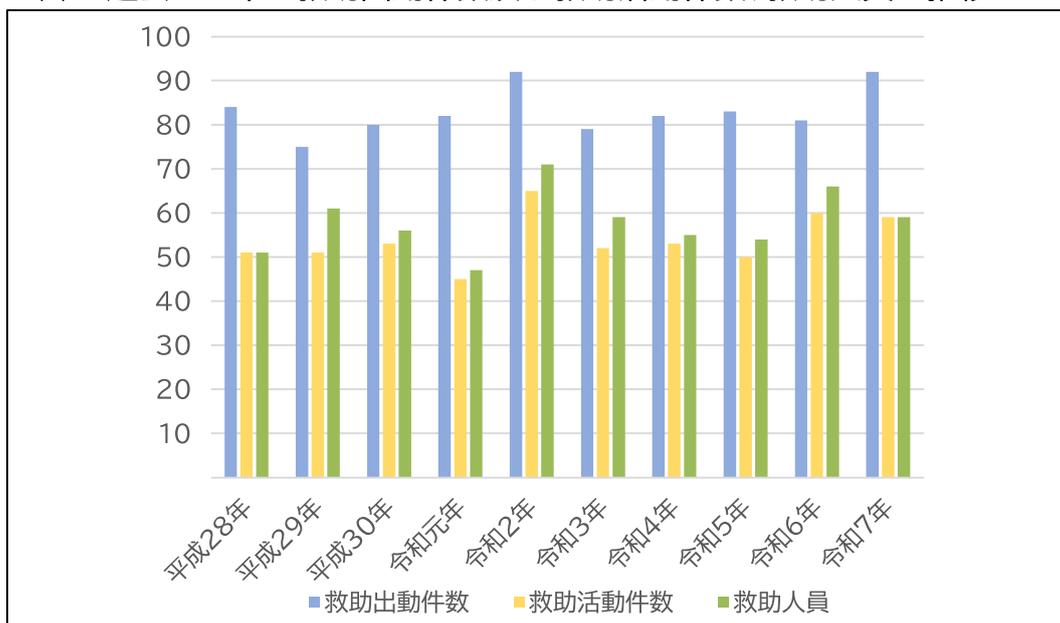


(3) 事故種別救助人員

事故種別ごとの救助人員状況をみると、最も多いのは、その他の事故 31 人(52.5%)で、次いで交通事故 11 人(18.6%)、建物等の事故 10 人(16.9%)、火災(建物)3 人(5.1%)、水難事故 2 人(3.4%)、機械等の事故 2 人(3.4%)の順となっています。

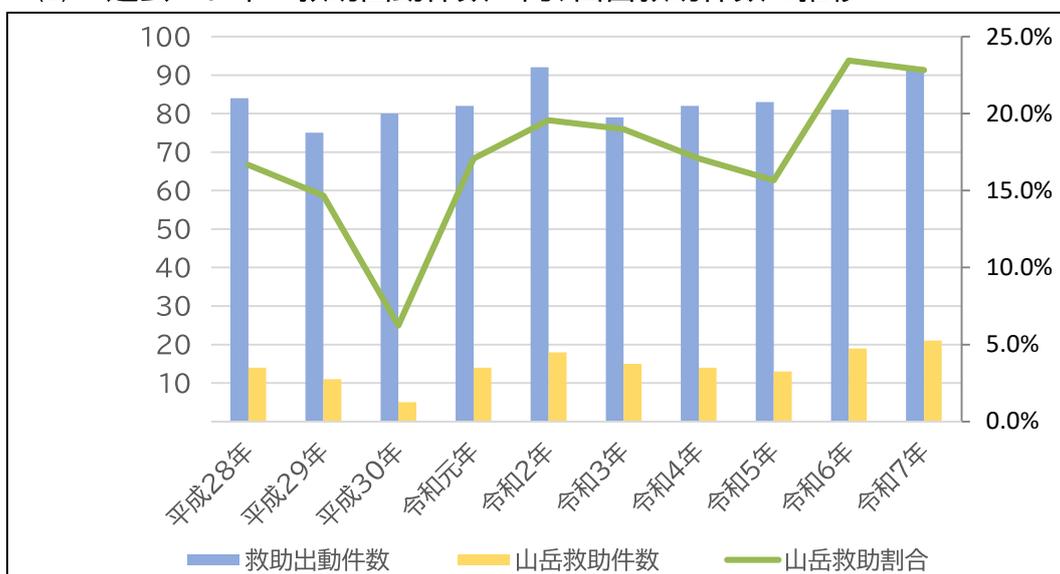


(4) 過去10年の救助出動件数及び救助活動件数、救助人員の推移



	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
救助出動件数	84	75	80	82	92	79	82	83	81	92
救助活動件数	51	51	53	45	65	52	53	50	60	59
救助人員	51	61	56	47	71	59	55	54	66	59

(5) 過去10年の救助出動件数の内、山岳救助件数の推移



	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
救助出動件数	84	75	80	82	92	79	82	83	81	92
山岳救助件数	14	11	5	14	18	15	14	13	19	21
山岳救助割合	16.7%	14.7%	6.3%	17.1%	19.6%	19.0%	17.1%	15.7%	23.5%	22.8%